



## 平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 広報・IR室長

(氏名) 田中 和幸

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	15,108	7.8	△193	—	△173	—	△503	—
26年12月期第2四半期	14,021	2.9	△1,503	—	△1,508	—	△1,315	—

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 △460百万円 (—%) 26年12月期第2四半期 △1,296百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	△29.65	—
26年12月期第2四半期	△77.33	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第2四半期	26,758	16,493	59.1	931.61
26年12月期	26,515	17,771	64.6	1,008.94

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 15,822百万円 26年12月期 17,136百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,800	2.0	4,550	15.8	4,500	15.8	2,150	22.8	126.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期2Q	17,185,650 株	26年12月期	17,185,650 株
27年12月期2Q	201,258 株	26年12月期	201,258 株
27年12月期2Q	16,984,392 株	26年12月期2Q	17,016,892 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューの手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(第2四半期決算補足説明資料の説明会内容の入手方法)

第2四半期決算補足説明資料は、平成27年8月10日(月)に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行による各種政策の効果や原油価格の下落等により、輸出関連企業を中心に収益が改善し国内景気は緩やかな回復基調にあります。しかし、消費税引き上げの反動や物価上昇に伴う実質所得の減少などで個人消費の回復までに至っていないことや、新興国の景気後退並びにギリシャの債務問題など海外経済の不安要素もあり、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、主力である写真事業において、競合他社との差別化強化を図り、お客様に選んでいただけるお店になるための取り組みを行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,108百万円（前年同期比7.8%の増加）、営業損失は193百万円（前年同期は1,503百万円の営業損失）、経常損失は173百万円（前年同期は1,508百万円の経常損失）、四半期純損失は503百万円（前年同期は1,315百万円の四半期純損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (写真事業)

写真事業は、入園入学撮影の推進を図るとともに、5月から「早撮り七五三キャンペーン」並びに、「七五三お出かけ着物レンタル予約」を開始いたしました。七五三お出かけ着物レンタルは昨年に引き続き平日0円を打ち出しており、早撮り七五三撮影の件数獲得に貢献いたしました。また、端午の節句撮影の件数獲得を目的とした参加型キャンペーンを実施いたしました。そのほか、お子様の笑顔を撮ることに絶対の自信をもつ当社だからこそできる「百日赤ちゃん 笑顔の写真絶対撮りますキャンペーン」を昨年同様6月に実施し、赤ちゃん撮影の件数獲得に努めました。

国内こども写真館の出店状況は、移転4店舗を含み11店舗出店、退店3店舗を行い、ショッピングセンター内の区画移動・増床を含む改装を119店舗実施いたしました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館478店舗（直営店舗468店・フランチャイズ店舗10店）、アミューズメント写真館3店舗、ペット写真館1店舗、韓国の子会社におけるこども写真館3店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館7店舗を含め、492店舗となっております。

以上の結果、写真事業の売上高は15,017百万円（前年同期比8.1%の増加）、セグメント損失は216百万円（前年同期は1,516百万円のセグメント損失）となりました。

#### (衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、更なる生産コストの低減に向け、資材の調達方法や生産効率を向上させる取り組みを行いました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は1,075百万円（前年同期比9.0%の減少）、セグメント利益は187百万円（前年同期比12.8%の増加）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ243百万円増加の26,758百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ734百万円減少の10,083百万円となりました。

固定資産は、改装等による有形固定資産の取得等により、前連結会計年度末と比べ978百万円増加の16,675百万円となりました。

## ② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,522百万円増加の10,265百万円となりました。

流動負債は、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少及び短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,269百万円増加の7,965百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加及び固定負債「その他」に含まれる長期リース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ252百万円増加の2,300百万円となりました。

## ③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,278百万円減少し16,493百万円となりました。

これは主に、当第2四半期純損失及び前連結会計年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

## ④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,467百万円減少し5,083百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、主に税金等調整前四半期純損失454百万円、減価償却費1,475百万円、法人税等の支払額1,086百万円、未払消費税等の減少額672百万円などにより396百万円（前年同期は8百万円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、主に写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出2,526百万円などにより、前年同期に比べ155百万円減少し2,408百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、主に短期借入金による収入2,000百万円、配当金の支払額764百万円などにより、前年同期に比べ870百万円増加し1,336百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成27年2月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が82,688千円増加し、利益剰余金が53,251千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,011,439	5,543,930
受取手形及び売掛金	821,001	1,032,464
たな卸資産	1,319,338	1,254,323
その他	1,703,122	2,293,522
貸倒引当金	△37,120	△41,010
流動資産合計	10,817,782	10,083,230
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,100,547	7,880,611
その他(純額)	3,353,155	3,445,658
有形固定資産合計	10,453,703	11,326,269
無形固定資産	1,113,297	1,195,497
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,121,738	3,204,155
その他	1,183,635	1,145,973
貸倒引当金	△174,835	△196,235
投資その他の資産合計	4,130,538	4,153,893
固定資産合計	15,697,538	16,675,660
資産合計	26,515,321	26,758,891
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	319,123	250,384
短期借入金	800,000	2,800,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	-
未払法人税等	1,140,738	368,322
賞与引当金	79,460	151,751
その他	4,336,560	4,395,077
流動負債合計	6,695,884	7,965,535
固定負債		
退職給付に係る負債	665,140	792,001
資産除去債務	913,459	932,331
その他	469,032	575,670
固定負債合計	2,047,632	2,300,003
負債合計	8,743,517	10,265,539

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	13,313,040	11,991,952
自己株式	△275,592	△275,592
株主資本合計	16,978,846	15,657,759
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	157,381	164,986
その他の包括利益累計額合計	157,381	164,986
少数株主持分	635,575	670,606
純資産合計	17,771,803	16,493,352
負債純資産合計	26,515,321	26,758,891



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	14,021,013	15,108,442
売上原価	11,883,663	11,897,253
売上総利益	2,137,350	3,211,189
販売費及び一般管理費	3,640,767	3,404,231
営業損失(△)	△1,503,417	△193,042
営業外収益		
受取利息	1,673	1,495
受取家賃	13,069	12,704
受取補償金	-	23,980
雑収入	18,394	15,622
営業外収益合計	33,137	53,802
営業外費用		
支払利息	9,263	6,749
為替差損	3,123	419
貸倒引当金繰入額	8,000	22,000
雑損失	17,425	5,470
営業外費用合計	37,812	34,638
経常損失(△)	△1,508,092	△173,878
特別損失		
固定資産売却損	-	8,156
固定資産廃棄損	174,245	234,207
減損損失	242,253	38,673
特別損失合計	416,498	281,036
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,924,591	△454,915
法人税、住民税及び事業税	297,342	325,373
法人税等調整額	△946,228	△311,782
法人税等合計	△648,886	13,591
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,275,705	△468,506
少数株主利益	40,128	35,031
四半期純損失(△)	△1,315,833	△503,537

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,275,705	△468,506
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△20,574	7,604
その他の包括利益合計	△20,574	7,604
四半期包括利益	△1,296,279	△460,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,336,408	△495,933
少数株主に係る四半期包括利益	40,128	35,031

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,924,591	△454,915
減価償却費	1,404,973	1,475,769
のれん償却額	9,046	4,824
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,690	25,290
賞与引当金の増減額(△は減少)	115,390	72,045
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28,345	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	44,172
受取利息	△1,673	△1,495
支払利息	9,263	6,749
為替差損益(△は益)	△193	△1,089
固定資産売却損益(△は益)	-	8,156
固定資産廃棄損	174,245	234,207
減損損失	242,253	38,673
売上債権の増減額(△は増加)	△278,132	△210,554
たな卸資産の増減額(△は増加)	△83,559	70,385
仕入債務の増減額(△は減少)	△46,274	△69,236
未払消費税等の増減額(△は減少)	△166,974	△672,414
前受金の増減額(△は減少)	944,730	491,355
その他の流動資産の増減額(△は増加)	214,437	△79,010
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△368,243	△306,542
その他	35,783	15,580
小計	306,138	691,951
利息の受取額	2,901	2,959
利息の支払額	△9,263	△6,749
法人税等の支払額	△528,407	△1,086,938
法人税等の還付額	237,391	2,058
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,760	△396,718
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,253,913	△2,146,225
有形固定資産の売却による収入	-	74,572
貸付金の回収による収入	3,543	3,588
無形固定資産の取得による支出	△199,090	△232,259
敷金及び保証金の差入による支出	△123,898	△148,259
敷金及び保証金の回収による収入	47,496	58,466
その他	△38,769	△18,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,564,631	△2,408,917
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,400,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△135,000	△20,000
セール・アンド・リースバックによる収入	930,516	817,572
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△690,647	△697,195
自己株式の取得による支出	△266,370	-
配当金の支払額	△773,072	△764,297
財務活動によるキャッシュ・フロー	465,427	1,336,079
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,081	2,046
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,093,525	△1,467,509
現金及び現金同等物の期首残高	6,186,002	6,551,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,092,476	5,083,564

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,889,106	131,906	14,021,013	-	14,021,013
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	1,049,564	1,049,564	△1,049,564	-
計	13,889,106	1,181,471	15,070,577	△1,049,564	14,021,013
セグメント利益 (△は損失)	△1,516,368	166,132	△1,350,236	△153,181	△1,503,417

(注) 1. セグメント利益(△は損失)調整額△153,181千円には、固定資産の調整額等△42,515千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△110,666千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては242,253千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,015,807	92,635	15,108,442	-	15,108,442
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,994	982,486	984,480	△984,480	-
計	15,017,801	1,075,121	16,092,923	△984,480	15,108,442
セグメント利益 (△は損失)	△216,841	187,341	△29,500	△163,542	△193,042

(注) 1. セグメント利益(△は損失) 調整額△163,542千円には、固定資産の調整額等△54,229千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△109,312千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「写真事業」セグメントにおいて、店舗及び遊休資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては38,673千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。